

● インチキうらないし
● ある所にうらないしがいた。
● しかし、このうらないし、実はと
● ってもインチキな人間であつた。
● あるうらないでは、
● 「お前の頭にはもうすぐ、いん石
● が落ちるであらう。」
● と言ひ、お客が全く信じようとし
● ないで帰ると、その頭に向かつて
● 石を投げた。
● また、あるうらないでは、
● 「お前はもうすぐ深くて暗いあな
● にすいこまれていくだらう」
● と言つてお客が全く信じようとし
● ないで帰ると、落としあなをほつ
● てその人を落とすした。
● そう、このうらないし、自分で言
● ったうらないを全て自分で実現す
● ことで必ずあたるうらないしなの
● である。
● 当然、すぐにやめさせられた。

問い 1

「頭にいん石が落ちるであろう」と言つたお客さんにインチキうらないしは（ ）を投げた

問い 2

結局、インチキうらないしはどうなつたか。（ ）